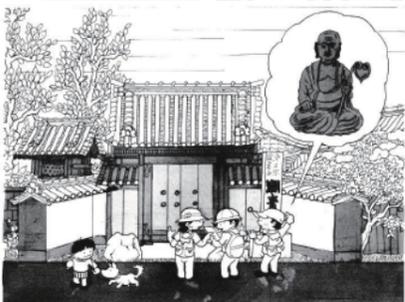


はんなんぷい 歩み

井関越街道を歩く

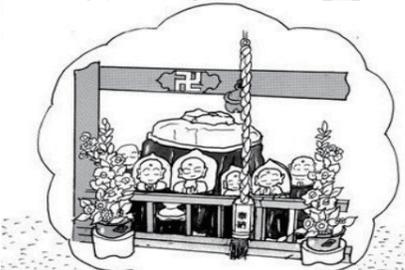
井関越街道
点線の道が
井関越街道です



潮音寺
蓮池を改修した僧「重源」と伝えられる像が安置されています。

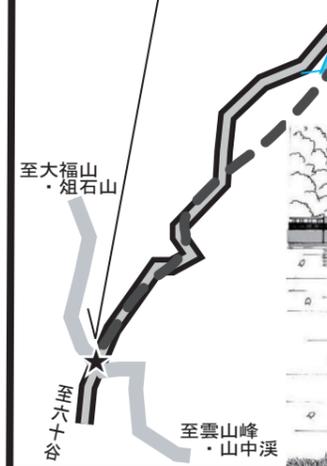


首斬り地蔵
首斬り地蔵は地元では首から下の病に効能があると言われ、今も線香の煙が絶えることがありません。



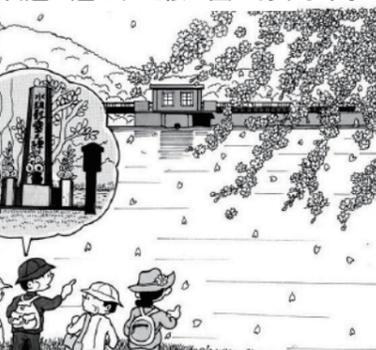
井関峠 (表紙イラスト)

ここまで来ると前方がぱっと開け、紀ノ川から和歌山市内、和歌浦まで見える素晴らしい眺め。そのまま下ると六十谷に至り、左折れすると雲山峰、右折れすると大福山、俎石山に至ります。



鳥取池緑地
桜の園

鳥取ダムと桜の園
昭和27年7月の豪雨被害の慰霊碑が建てられ、ダム下には大阪府緑の百選に選ばれた桜の園があります。

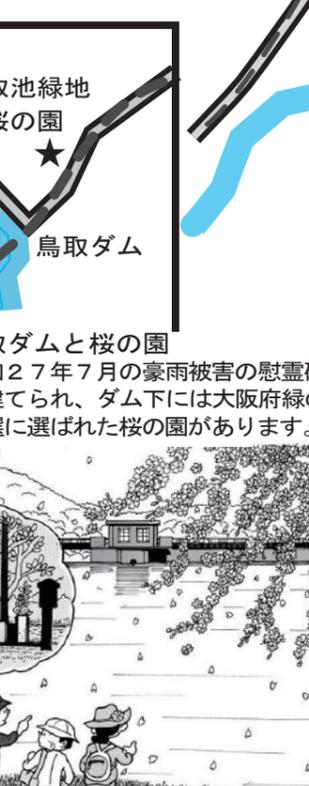


蓮池
阪南市最大のため池。



向出(むかいで) 遺跡

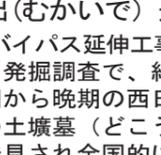
R26バイパス延伸工事にもなう発掘調査で、縄文時代後期から晩期の西日本最大級の土壌墓(どこうぼ)群が発見され全国的に有名になりました。また縄文時代だけでなく、弥生、古墳時代以降も人々の生活が長く続いたことが検証できる大変重要な遺跡です。



波太神社
拝殿正面の燈籠は慶長5(1605)年に片桐且元が奉納したと伝えられています。



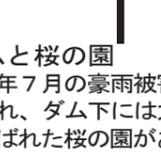
釜法眼の墓



岩崎観音堂



玉田山古墳群



祐道寺



岩崎観音堂は釜法眼(かまほうげん)の開創と伝えられています。観音堂は明治時代に自然田の瑞宝寺境内に移されました。現在、さつき台住宅地の一角に、敷地に散在していた僧侶の墓石や子守地蔵尊を安置してあります。公園に隣接し、いつも美しい花が供えられています。また釜法眼の墓と伝えられる天文10(1541)年の銘がある五輪塔が、石田地区の民家の一角に祀られています。

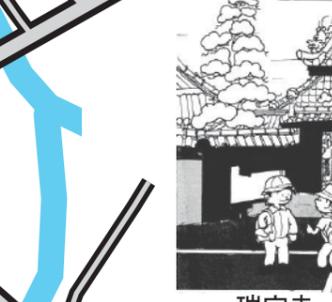


岩崎観音堂は釜法眼(かまほうげん)の開創と伝えられています。観音堂は明治時代に自然田の瑞宝寺境内に移されました。現在、さつき台住宅地の一角に、敷地に散在していた僧侶の墓石や子守地蔵尊を安置してあります。公園に隣接し、いつも美しい花が供えられています。また釜法眼の墓と伝えられる天文10(1541)年の銘がある五輪塔が、石田地区の民家の一角に祀られています。

抜水(ぬきず)
昔農民が水不足に悩み苦しんでいた時、地下水を利用する「抜水(ぬきず)」という灌漑設備を、根来紋次郎氏が明治時代に造りました。近くに根来氏の遺徳を偲び農民が建てた「湧泉の碑」があります。



瑞宝寺



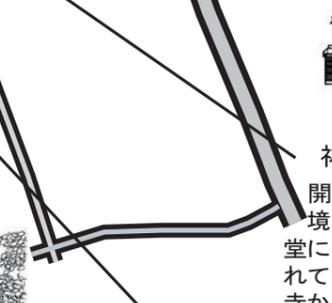
自然居士の大いちょう



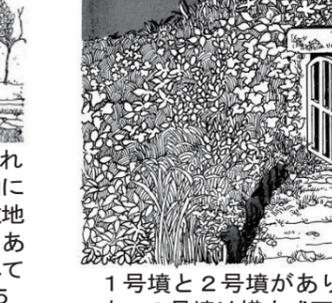
祐道寺



玉田山古墳群



1号墳と2号墳があり、7世紀初頭に造られたものです。2号墳は横穴式石室が露出していて、天井部と側壁部の一部が失われています。



1号墳と2号墳があり、7世紀初頭に造られたものです。2号墳は横穴式石室が露出していて、天井部と側壁部の一部が失われています。